会員各位　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成31年４月吉日

一橋陸上競技倶楽部　　会長　浜田　愃

一橋陸上競技倶楽部　平成30年度総会および卒業生歓迎会（ご報告）

3月15日（金）如水会館にて開催された倶楽部総会および卒業生歓迎懇親会について、司会の岩瀬幹事長から出席会員および委任状数が総会開催議決権数要件を満たしている旨の報告があり、以下の議事を進めましたのでご報告いたします。

**総会（18:00～18:30）**

〈会長挨拶〉

　新入会員に向けて歓迎の祝辞とこれからは学生諸君を支援する立場になるので宜しくお願いしたい。ＯＢＯＧと現役学生との接触を強化しなければならないという課題もある。そうしたことから、本日の総会には学生全員を招待しており、OBOGとの懇親交流を深めていただきたい。また、今年も学生の活動を経済面でも力強く支えていく方針でいるので、そのことを念頭に深くおいていただきたい、などの話があった。

〈議　　案〉

1. H30年度決算報告・H31年度予算案および資産目録について

大鳥羽会計担当理事から席上配布資料に沿って説明。H30年度も特別会計からの補填無く一般会計だけで支出を賄えることができたことの報告がされ、この内容について**全員賛成で承認された。**

また資産目録関係では、H31年度の案件になるが4月に陸連による検定更新を受ける為のグランド補修工事の費用については、タータン補修等約280万円を特別会計から、また陸連の規定変更による投擲囲いネットの建替え費用864万円を大学の後援会課外教育振興基金からそれぞれ賄いたい旨説明があった。

1. 会費規則の改正について

浜田会長から、H30年度、H29年度と特別会計を取り崩すことなく一般会計でもって支出を賄うことができたが、学生の経済的負担を少しでも軽減し部活動に邁進できるように、今回、会費規則を一部見直すべく議案に上げた主旨説明あり。最も大きな収入項目である年会費は、未納会員も多くいる中で、年度末ギリギリまで会費納付のお願いを重畳的に重ねた結果かろうじて会費収入予算を達成できているというのが現状。この辺の財政基盤をより盤石にする為に、年会費の規則を従来の一律年1万円をベースに、会員の自発的な意思により1万円を超える額の納付も可能になるように改訂したいと考えている旨説明があった。席上配布資料あり。

以上の内容について**全員賛成で承認された。**

今春卒業する新会員の皆さんも主旨ご理解の上、一例として12,000円くらいの協力をいただければと期待している。

1. 競技場公認更新工事に伴う特別会計及び後援会基金の取崩しについて

議案①の「資産目録」の項につながる本件について**全員賛成で承認された。**

　 特に、ハンマー投げ囲い工事費用について、「渡邉達也先輩(S39入)からの1000万円の寄付が無かったら実現が極めて困難だった。渡邉先輩に感謝を表したい。」旨、浜田会長から披露があった。

〈報告事項〉

　新任理事・監事および退任理事・監事について、浜田会長より以下の報告と紹介があった。

　　　〈退任〉理事　建部克史氏（S44入）、　監事　後藤哲也氏（S40入）

〈新任〉理事　定成俊政氏（H15入）、　監事　建部克史氏（S44入）

〈特別報告〉

　後藤哲也氏（S40入）から、卒業50周年記念に同期達で52年前の第一回沖縄遠征合宿の地を再訪し、琉球大学陸上部OBとも旧交を温め直し、地元新聞にも掲載された旨、映像を交え報告あり。

また、一橋の陸上グランドや国立の街が誕生した大正末期～昭和初期の貴重な資料の紹介あり。特に当時の学生達が大変苦労し取得した公認競技場の伝統を今後も守り続けて行く意義を話された。

**卒業生歓迎会兼懇親会（18:30～20:30）**

・青木俊樹前会長より、卒業の祝辞。その中で、最近の戦績で沢山の素晴らしいものがある。一例として、箱根駅伝予選会においては東大と一橋のそれぞれの合計タイムが2～3年前までは40分ほども開けられていたのが去年は19分ほどの差にまで縮まった、また、個人名を挙げて恐縮だが佐々木海君は学連選抜ノミネートに手が届くところまで来ている、競歩においては河野君はじめ今3人の選手が素晴らしい記録を生んでいる。また複数人で鍛錬に励めることから新記録が続々誕生する力強い環境が生まれている、部員数はもっと増やすべきだ等、行く末が大変楽しみだ。「やればやれる！」気持ちが成長に繋がるといったエールをいただいた。と同時に今春卒の皆さんへ年会費納付はきちんと励行してもらいたい旨念押しあり。

・続いて加納隆部長より、社会人になるに向けては心身健康第一、これは4年間の陸上競技生活で身についているので自信を持って頑張ってほしい。壁に当たった時にはグランドに来てbreak throughしたらよい旨の祝辞をいただいた。

・浜田ヘッドコーチから「自分はこの辺までかなと思っている者は伸びず、自分はもっと行けるんだと思っている者は伸びる」「成長とか勝つということが愉しいことだという意識を持つことが大事」など有難い『喝』の言葉をいただいた。

・OBの吉田良造先輩（S38入）、松原俊二氏（S53入）、松長慎氏（S60入）各氏からも、健康第一、陸上競技をやっていたことが今もって会社生活での自信になっている、最近になって記録会にも参加し出した等の話が共通して述べられた。

・平成30年度表彰に移り、小口智樹君（Ｈ27入）に準都留杯（100ｍ10秒69）と水上杯を授与。

・定成監督から卒業生・新会員に贈る言葉の後、各新会員から就職先含め自己紹介あり、新会員を代表し小口元主将から「至らなかった自分達を支援・指導下さったＯＢ諸先輩方への感謝」の言葉。

・佐藤勇介主将からＨ30年度の戦績報告。

・参加者全員で部歌を斉唱しお開き。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上